

# 明石市都市計画マスタープラン



## 都市づくりの方針

- 都市づくりの方針は、目指すべき将来像の実現に向け、**より良い都市づくりを進めるための方向性を項目毎に方針として示すもの**です。
- 本市では、7つの項目に整理し、方針を示します。

### 1 土地利用の方針

#### 市街化区域の方針

- 活力ある商業地と工業地、住み良い住宅地づくりを目指した土地利用を図ります。

#### 市街化調整区域の方針

- 農地やため池などは、持続可能な環境保全に努めます。
- 土地利用転換は、保全と活用との調和を図りながら適切な土地利用を誘導します。

#### 用途別の方針

- 商業・業務系、工業系、住宅系の3つのゾーンに分け、それぞれの用途に応じた方針を示します。

### 2 都市施設整備の方針

#### 交通施設整備の方針

- 鉄道駅を中心に集約型の都市構造を形成するため、利用環境の向上を図ります。
- 選択と集中による道路整備や適切な維持管理などにより安全安心な道路空間を確保します。
- 市民のニーズに配慮した交通体系について、誰もが安全で安心して移動できる交通環境の実現を目指します。

#### 公園・緑地等整備の方針

- 立地特性を活かした維持管理、有効活用や公園整備を誘導、検討していきます。

#### 下水道・河川等整備の方針

- 汚水管、雨水管の整備、下水道施設の適切な維持管理、長寿命化、改築・更新により都市環境の向上を図ります。
- 河川やため池などは、治水安全度の向上や親水空間として活用を図ります。

### 7 コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり方針

- 将来にわたって持続可能で住みよいまちづくりを進めるため、「明石市立地適正化計画」(コンパクトシティ)と「明石市総合交通計画(地域公共交通計画)」(ネットワーク)に基づき、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方に沿ったまちづくりを進めます。

## 計画の推進方針

- 多様な機会を通じて、市民に計画の内容を公開、説明します。
- 上位計画やその他各分野の関連計画との整合性を確保し、効果的に施策を推進します。
- 今後、人口や産業構造、土地利用動向などが大きく変化した場合や、上位計画の改定、その他目まぐるしく変化する社会情勢や多様化する市民ニーズへの対応が必要になった場合は、計画内容の点検を行い、必要があれば随時適切に見直しを行います。
- 計画(Plan)を実行に移し(Do)、その結果・成果を点検し(Check)、改善し(Action)、次の計画(Plan)へとつなげていきます。

### 3 環境保全・整備の方針

- 脱炭素社会を目指し、環境負荷の低減に配慮した都市づくりを進めます。
- 古くからのまちなみなど歴史的な環境、海岸線や海辺の環境、農地やため池などの自然環境など、空間的環境の保全や整備を図ります。
- ユニバーサルデザインの考えに沿って、バリアフリー化などの安全・安心な都市環境や回遊ネットワークなどの移動環境を整備します。

### 4 景観形成の方針

- 景観を面、線、点、眺望や守り、育て、創る視点で市民、事業者、行政が一体となって景観の取組を進めます。

### 5 市街地整備と住宅地整備の方針

#### 市街地整備の方針

- 区画整理や地区計画、用途地域の転換などにより良好な市街地形成を図ります。

#### 住宅地整備の方針

- 開発許可での誘導や地区計画などにより良好な住環境を整備します。

### 6 都市防災の方針

- 密集市街地は、狭あい道路整備や空き家の適切な管理促進により環境改善します。
- 公園の機能強化や幹線道路整備などで防災機能向上を図ります。
- 浸水被害対策として、雨水管整備や排水施設の維持管理などを促進します。
- ハザードマップなどにより情報発信に努めます。

## 計画策定の目的

- 「明石市都市計画マスタープラン」は、本市のまちづくりの指針となる「あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)」などを踏まえ、**都市全体の将来像や土地利用、都市施設整備のあり方**などを明確にする計画です。
- おおむね20年後の都市の姿を展望し、10年後を目標年次とした**都市計画の基本的な方針**を示すことを目的としています。

## 将来都市像と都市づくりの視点・方向性

主要な課題

超高齢社会等の社会変化への対応

産業構造の変化への対応

安全安心・防災対策

地域の主体的なまちづくり

都市機能の維持・向上

インクルーシブ社会の実現

地球環境への配慮

新しい生活様式・分散型社会への対応

本市のまちづくりはSDGs(持続可能な開発目標)の考え方を軸に推進します。

都市づくりの視点

#### 【経済】

地域の資源・特性を生かし  
好循環を生む  
“活力ある地域経済の確立”  
をめざす都市づくり

#### 【社会】

超高齢社会を念頭においた  
多種多様な交流が生み出す  
“やさしい共生社会”  
をめざす都市づくり

#### 【環境】

豊かな環境と都市の強さと  
しなやかさが調和した  
“安全・快適な暮らし”  
をめざす都市づくり

将来都市像

## やさしさ・豊かさ・活力が持続する 未来安心都市・明石

- 目標年次：令和14年度(2032年度)
- 人口規模：30万人【令和12年度(2030年度)】



都市づくりの方向性

誰もが安全・安心に暮らせる、人にやさしい

都市づくり

災害に強く、強靱な

都市づくり

都市と自然が融合し環境負荷の少ない脱炭素型の都市づくり

まちの魅力により活力と交流が持続する

都市づくり

スマートシティの推進による次世代の

都市づくり





# 将来都市構造と地域づくりの方針

● 明石の都市空間について、都市構成面での特徴を把握しやすくするため、「核」「軸」「ゾーン」という構成要素で都市構造をモデル化し、目標とする都市構造を定めます。

都市核	都市軸	ゾーン
都市機能の中心となるべき地区	拠点を結び、人・物・情報等の主な流れがある場所	地域特性や立地環境に合わせた都市づくりの実現を目指す土地利用のまとまり
<ul style="list-style-type: none"> <li>中心核</li> <li>主要地域核</li> <li>環境・景観核</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨格交通軸</li> <li>海岸軸</li> <li>みどりの軸</li> <li>河川軸</li> <li>生活連携軸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業・業務ゾーン</li> <li>工業ゾーン</li> <li>住宅ゾーン</li> <li>みどりのゾーン</li> <li>臨海ゾーン</li> <li>主要道路</li> <li>鉄道</li> </ul>

### 地域づくりの方針

- ① 地域区分は生活圏を考慮し、市内を5地域に区分します。
- ② 「都市づくりの方針」を踏まえたうえで、地域ごとの「特性」と「課題」を考慮した「目標」を整理し、各地域の「地域づくりの方針」を示します。

### 明石東部地域（地域の目標）

- ① 都市と海がつながるにぎわい・交流拠点の形成
- ② 暮らしの質を高める  
便利で快適な生活拠点の形成
- ③ 住宅地における良好かつ持続可能な住環境の構築
- ④ 豊かな文化・レクリエーション資源に触れられる回遊性の高い都市づくり

将来都市構造図



### 二見地域（地域の目標）

- ① 山陽電鉄東二見駅及び西二見駅周辺の各機能の連携強化
- ② 南二見人工島での産業機能の維持・向上と良好な住宅地との共存
- ③ 明石海浜公園における海際レクリエーション機能の利用促進と防災機能の向上
- ④ 地域内の道路の安全性の向上

### 魚住地域（地域の目標）

- ① JR魚住駅南北が一体となった暮らしの核とまちのにぎわいづくり
- ② 地域の元気を支える駅と連携した住環境づくりと国道沿い等での操業環境の向上
- ③ 自然、歴史、文化の魅力にふれあうレクリエーション機能の強化
- ④ のどかさを感じさせる農を身近に親しむ都市づくり

### 大久保地域（地域の目標）

- ① 人々が集い、にぎわいが溢れる駅周辺の都市拠点づくり
- ② 人口増加に対応した住み続けたい魅力ある住環境づくり
- ③ 住宅と工業地との良好な共存と産業機能を高める環境づくり
- ④ 緑と海と歴史を楽しむ回遊ネットワークの形成

### 西明石地域（地域の目標）

- ① 広域交通拠点として活発な交流を育む都市づくり
- ② 都市活力の波及と利便性向上による住みたくくなる住環境づくり
- ③ 雇用を支える産業機能の維持・強化と住工共存の都市づくり
- ④ 自然資源を活用したまちづくりや回遊ネットワークの形成

地域づくりの方針